

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に◆が付加されています（2023年度以降）

開講科目名／Course	地域祭礼学（泉州）／Regional Festival Studies(Senshu)		
時間割コード／Course Code	R1001143_G1		
開講所属／Course Offered by	共通／		
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year 第3クォーター／3Q		
曜限／Day, Period	他／Otr		
開講区分／Semester offered	後期／the latter term		
単位数／Credits	1.0		
学年／Year	1,2,3,4		
主担当教員／Main Instructor	吉村 旭輝		
授業形態／Lecture Form	講義		
教室／Classroom	岸和田サテライト／岸和田サテライト		
開講形態／Course Format			
ディプロマポリシー情報／Diploma Policy	要件所属／Course Name	ディプロマポリシー／Diploma Policy	DP値／DP Point
	共通	幅広い教養と分野横断的な学力	4
		課題解決力と自己学修能力	3
		地域への関心と国際的視点	3
担当教員名／Instructor （担当教員所属名／Affiliation）	吉村 旭輝（大学共通）		
授業の概要・ねらい ／Course Aims	泉州では、ありとあらゆる地域に祭りや祭礼が存在している。とくに岸和田や貝塚といった旧城下町や寺内町ではだんじりや布団太鼓をはじめとする屋台が登場し、都市祭礼が今なお盛んに行なわれている。また農漁村では中世以来の地域コミュニティを主体とした祭りが神輿渡御という形態で残り、そこに江戸時代から明治時代にかけて若者組を中心に人気であっただんじりや布団太鼓、やぐらが流入し、多層的な祭礼文化を育んできた。 本講では、泉州の祭り／祭礼を都市祭礼、農漁村祭祀の歴史を中心に講義で概観したうえで、近年の過疎化や少子・高齢化といった地域の現代的問題にも触れ、実際に泉州の祭り／祭礼をフィールドワークで見学し、祭礼の実態を学ぶ講義である。		
到達目標 ／Course Objectives	泉州地域の歴史を深く理解し、またそこで行なわれる祭り／祭礼との関係を深く理解し、現代における泉州の実情と向きあえるようになることが目標である。		
成績評価の方法・基準 ／Grading Policies/Criteria	各回のミニレポート(50%)、祭礼見学レポート(50%)※ ※フィールドワーク不参加の人は泉州の祭礼について調べてレポートを書くこと。		
教科書 ／Textbook	特になし（毎回の授業で提示する。）		
参考書・参考文献 ／Reference Book	・芸能史研究会編(1981-90)『日本芸能史』1-7、法政大学出版局 ・吉村旭輝(2020)「泉州地域におけるだんじり祭りの現在—少子・高齢化と用具の変容—」『近畿民具』42、近畿民具学会 ・吉村(2022)「泉州地域の文化的境界把握のための試論—榎井川・田尻川における祭礼形態の違いを中心として—」『紀州経済史文化史研究所紀要』43、和歌山大学紀州経済史文化史研究所 ・吉村(2024)「地域文化の継承をめぐる課題と可能性」山崎功,新藤浩伸,田所祐史,飯塚哲子編『地域文化の再創造』水曜社 ・佛教大学アジア宗教文化情報研究所編(2008)『民俗芸能の現在』など		
履修上の注意・メッセージ ／Notice for Students	第2回、第3回については岸和田サテライト（岸和田市）において授業を行います。第1回については、10/11（日）にだんじり祭見学フィールドワークを実施するため、南海泉大津駅集合（10：00）となります。また、参加できない場合は別課題の提出が必要となります。このフィールドワークに参加できることを基本とします。（部分参加も可能）		
履修を推奨する関連科目 ／Related Courses	民俗芸能論、地域祭礼学（熊野）、熊野参詣道の現在と観光、日本文化史（教育学部）		
授業時間外学修（予習・復習等）の内容 ／students learning outside of the class, preparation and review are included	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行なうこと。さらに、泉州に関連する課題の調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。授業時間の約2倍の時間外学修を要する。		
その他連絡事項 ／Other messages	特になし。		
授業理解を深める方法 ／How to deepen your understanding of classes	参考書・参考文献とあわせて受講者自身の故郷あるいは現在の居る所の祭り／祭礼だけでなく、年間をとおして行われている年中行事も調べ、予習復習をすることが重要である。		
オフィスアワー ／Office Hours	火～木曜日10時30分～16時00分 西5号館1階 紀州経済史文化史研究所事務室 月～木曜日16時30分～17時30分 東3号館 南104（吉村研究室）		

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に◆が付加されています（2023年度以降）

科目ナンバリング ／Course Numbering	C80011J1010111B1	
実務経験のある教員等による授業 科目 ／Practical Experience	実践的教育 ／Practical Education	2. 該当する
	実践的教育の内容 ／Contents	だんじり祭りのフィールドワークを行なう

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け ／Subjects and position in the whole course	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考（担当） ／Notes
第1回（10/11）10時～15時…フィールドワーク	秋祭り見学フィールドワーク（泉大津～和泉府中～久米田～東岸和田～和泉鳥取～田尻～樽井）	泉州の秋祭りフィールドワークを実施	
第2回（11/1）13時～17時…座学	泉州地域の都市の祭礼	泉州地域の都市祭礼について講義	
第3回（11/8）13時～17時…座学	泉州地域の農漁村の祭りとこれからの地域祭礼	泉州地域の農漁村の祭りについての講義とこれからの地域祭礼について考える	